

東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

令和2年9月25日発行 (第124号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX：052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



先月は、熱中症対策の話をしていたのに、「秋分の日」を過ぎて、肌寒さを感じるようになりましたね。秋分とは、太陽が黄経 180 度(秋分点)を通過する時のことで、春分と同じく、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになります。これからは、夜の時間が長くなります。読書・食欲・芸術・スポーツなど色々な秋がありますが、夜を楽しむような秋にしてはどうでしょう？



皆さんからのメッセージを募集します



ここ数年、回数は減っていますが、「お茶っこサロン in なごや」として、年2、3回皆さんとお会いし、交流をする企画を行ってきました。お花見をしたり、餅つきをしたり。お茶っこサロンのボランティアも皆さんが楽しく過ごされる様子が見たい!笑顔が見たい!と様々な企画をしてきました。しかし、このコロナ禍により、人が集まる企画をなかなか立てづらい状況です。

そこで、今回お茶っこサロンボランティアで、メッセージでの交流企画を考えました。今はまだ会うことは難しいですが、皆さんの様子が気になる!ということで、コロナ禍の中、こんな風に過ごしたよ! 今はこんな状況だよ! という皆さんの状況や、他の被災者の方やボランティアへのメッセージを集めたいと思います。

同封のハガキにメッセージとして書いて返送していただき、届いたものを「メッセージ集」(仮)としてまとめ、また皆さんへお送りしたいと思います。

なお、この「お知らせ」は皆さんにお送りしていますが、その他、メールやお電話などでも声かけさせていただきたいと思っています。手書きはちょっと...という方は、メールでメッセージを送っていただいても結構です! お電話でお話しいただいたことをこちらでまとめる形でも結構です! なるべく多くの方のメッセージが集まると嬉しいです。

ハガキの返送締切は、10月15日(木)とさせていただきます。ご家族どなたが書かれても OK です。絵手紙や子どもさんのイラストなどでも OK です。是非、メッセージの返送をお願いします。

その他、詳しいことは、裏面をご覧ください。



被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行きます
日時:令和2年10月6日・20日 両日とも 火曜日 10時15分~12時
会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)
持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ
材料費:1回500円~(実費相当)



寺子屋 NIT!

3月をもって、休止することになりました。再開する時は、またご案内します。

裏面に企画の詳細が載っています♪→



お便りでの交流企画

～『お茶っこサロンで会えないけど、皆さん元気ですか?』～



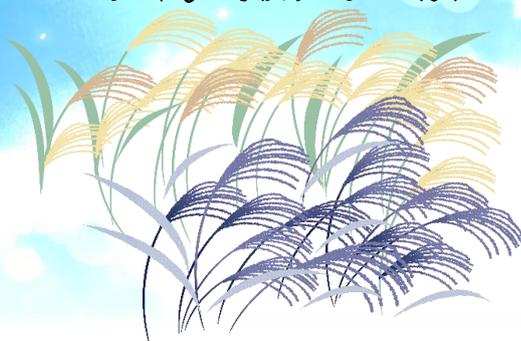
昨今、コロナウイルス感染の不安に加え、7月、8月は猛暑が続きましたが、皆さんのお身体の調子は如何でしょうか。お茶っこサロンも、3月の”餅つき&花見”が中止となり、8月に開催していた”ポーリング大会”も、コロナ感染拡大の不安があり、見送ることになりました。皆さんとの出会いの機会がなくなり寂しい限りです。コロナ禍が落ち着けば、いっしょに楽しい時間を持てる企画を立てたいと思っております。

そこで、今回は一堂に集まるお茶っこサロンはできませんので、お便りでの交流を企画しています。お茶っこサロンで知り合ったお友達や、スタッフのボランティア宛にメッセージを書いてみましょう。次にお会いする楽しみが一層深まると思います。

さて私の場合、プライベートでは、手紙はおろか文章を書くことはなく、電話やメールのやり取りで済ませてまっています。簡単で便利ですが、残るものがなく、懐かしく思い出したい時は寂しくなるでしょうね。親元を離れていた学生時代は、心配な親からは手紙を書くよう強く求められていました。『便りのないのは、いい便り』などと言いつつ、手紙を書くよう強く求められていました。『便りのないのは、いい便り』などと言いつつ、手紙を書くよう強く求められていました。

わずかに残る古い手紙は貴重品になりました。昔の文豪の残した手紙は、手紙自体が立派な文学になり、うらやましい限りです。

ところで、過去が一番短い手紙は、『レ、ミゼラブル』の作者ビクトル・ユーゴーが、本の売れ行きを問い合わせた、『?』の一文字。これに対して出版社は、非常に多いとの返事『!』、これまた一文字だったそうです。



(お茶っこサロンボランティアO)



メッセージでの交流企画について



漠然とメッセージと言われても、書きづらいと思いますので、テーマを設けたいと思います。

- ・コロナ禍の中、どう過ごしましたか? どう乗り越えましたか?
- ・コロナ禍の自粛期間中に新しく始めたこと(続かなかったことでも OK!)
新しく始めた様子、作ったものなど写真があれば、なお Good!
- ・元気だよ!メッセージ
- ・皆さんにおススメの楽しい場所、食べ物、時間の過ごし方
- ・最新の家族の変化(入学、進学、趣味、お友達...)
- ・ボランティアへのお願い、相談
- ・今までのお茶っこサロンで1番印象に残っている企画/場所/物
- ・お茶っこサロンへのアイデア!

表にも書いたとおり、イラストや写真などでも OK です。元気だよ、今はお休み中だよ、など状況が分かれば嬉しいです。

なお、「メッセージ集」(仮)へ氏名の掲載を希望されない場合は、ハガキの表(宛名面)に、表示名をご記入ください。また、スタッフへの連絡事項があれば、ご記入ください。よろしくお願いいたします!



↑ 3種類のどれかが同封されています